

平成31年度第1回池田市図書館協議会会議録要録

日時：平成31年4月14日（日）10：00～11：45

場所：中央公民館 会議室A

出席者：（委員）藤原一秀会長、齋藤副会長、平井委員、伊勢委員、佐藤委員
前西委員、藤原桂子委員、谷向委員、中嶋委員

（事務局）西山部長、田上次長、家門図書館長、他職員3名

欠席者：南委員

傍聴者：なし

議題：1 池田市立図書館の運営に関する評価について
2 平成31年度の重点目標について

配布資料：・池田市立図書館の運営の評価について（案）
・平成31年度の重点目標について

〈西山教育部長挨拶〉

〈家門図書館長挨拶〉

〈事務局紹介〉

会長 議題の1の池田市立図書館の運営に関する評価について、事務局より説明をお願いします。

〈事務局より、池田市立図書館の運営の評価について説明〉

会長 ひとつひとつ項目に沿って進めて行きたいと思っております。まず資料1の目的については、今後の評価の基準になるのでこの内容を抑えながら評価に繋げてもらいたいと思います。

会長 次に評価の方法につきましては、平成30年度の評価についての進め

方が書いてあり、31年度は4月には報告があり、11月には図書館協議会にて審議し、公表して行くという段取りとなっています。

会 長 次に評価の基準ですがABCと3つの段階で評価をして行きたい。

会 長 評価項目の設定の所の枠組みで池田市立図書館運営基準が上げられているわけですが、これに基づいて基本項目については、数字的な物で評価をして行くという項目が上げられていますが、これについていかがでしょうか。

委 員 問題ないです。

会 長 29年度はよかったと思いますが、30年度は移転の関係で実際運営期間が短いのですが、29年度とこのまま対比してもいいのか。31年度は4月分がないので、どの様に評価を行うのか。基準という物を作っておくか、事務局はどうお考えですか。

事務局 30年度は減るが、31年度は駅前に移転することから、4月が無くても増えて行くだろうと予想しております。報告段階で増減の理由等を明示していきたいと考えております。

会 長 池田市立図書館運営基準に基づく①多様な資料・情報の収集、整理、保存に努め、市民の読書活動を推進しますという項目ですが、これについては3項目上がっておりまして、この3項目が大枠の基本となるかと思えます。取組結果は数字化されたものと事業内容を文章で表したもので評価の結果を示されるということですね。

会 長 選書委員会の実施と書いてありますが、選書委員会は年に何回位、何人で行なわれているのですか。

事務局 毎週図書が沢山発行されるのと、リクエストも多く寄せられますので、毎週金曜日に各カウンターの代表6名程度で行っています。

会 長 外部からは入っておられないですか。

事務局 内部だけです。

委 員 歴史民俗資料館との役割のすみ分けとか、郷土資料について、利用者の方に目を留めていただきにくいところがあるのではないかと思っているのですが、池田市出身の著名人とかにスポットをあてて展示を行ったりして、歴史上の人物で池田市出身のかなり活躍されか方がいて、その方にスポットをあてた資料を固めて見せるとか、そういったこととかを考えていらっしゃるのでしょうか。

事務局 新図書館では、フロアの入り口付近に医療情報と認知症コーナーがあり、そのすぐ隣に郷土資料コーナーを設置しておりまして、それぞれテーマごとに資料を収集しております。池田市でしたら落語にスポットを当てて落語コーナーを作ったりして、分かりやすい配置して歴史民

俗資料館のイベントに合わせて、郷土に特化した展示も行なっております。

委員 今後の評価では、取組結果にそういうことが書かれて自己評価をした上で、図書館協議会が評価をするという流れですね。

事務局 数字だけでは図書館は評価しにくいことがありますので、数字ではなくこういう工夫をしましたというところも取組結果のところに書かせていただいてそれを評価していただきたいと考えております。

委員 サザエさんの波平の声をされていまして永井一郎さんという有名な声優さんがじつは池田市出身だそうで、せっかく偉大な方でしたので図書館の展示等で取り上げていただくのも良いかと提案いたします。

会長 具体的なお意見もいただいておりますが、概ね資料に記されております3つの観点でもってこれからの目標に向かって行くということによろしいでしょうか。

会長 続きまして②の市民が必要とする資料や情報を提供することにより、地域の情報拠点として課題解決に役立つ図書館をめざしますということで5つの項目が上がっているのですがこれについていかがでしょうか。

委員 ホームページからの電子検索で予約まで出来るのは、非常にいいシステムだと思いますので、利用の増加について具体的取り組みの中に一言入れて取り組み結果として評価するのも良いのではないのでしょうか。

事務局 インターネットで予約した件数は統計で取れており、図書館活動にも掲載していますので、評価の指標として検討いたします。

委員 上から2つ目の黒丸のところに認知症コーナーの設置と書いてあるけれど、これは認知症ということに対しての説明があるような本を集めるのか、その人が使うという意味ではないですね。

事務局 両方になります。認知症になられた方もそうですし、予防や介護等の全ての分野を集めています。本来分類で並べると、あちこちに本が分かれてしまいますので、利用者の方が探しやすいように1箇所にとまっています。

委員 関連書籍コーナーということですね。しかし、認知症という言葉があると、かえって利用しにくくならないでしょうか。

事務局 認知症コーナーは医療情報コーナーに併設しており、健康に関する本や、各種病気に関する本などがありますので、様々な目的で利用できるため、利用数も多くなっております。

会長 認知症の場合は、本人、家族が相談に来る目的が多いのではないのでしょうか。

- 事務局 目的は色々です。職種につかれようとする方や医療関係者の方、予防に関する事など、まとめていることで、関連した資料を一度に案内できるようにしています。
- 会長 資料の選択等は、図書館の職員方がされるのですか。
- 事務局 そうです。それと同じように子育て支援についても同様のコーナーを児童エリアの方に設置しております。
- 委員 子育てコーナーの中に発達障害関連の資料もありますか。
- 事務局 家庭教育とかも含んで子育て支援コーナーに特化して集めるように考えております。
- 委員 障がいの分野にあると行きにくかったりするので、その辺も認知症と同じように手に取りやすい工夫が必要ではないでしょうか。
- 事務局 そういった配慮もして行きたいと思っております。
- 委員 女性の利用者が多いと思いますが、子育てコーナーのように女性のコーナーもあればいいかなと、趣味のコーナーとか病気ことのコーナーなど、女性対象のコーナーがあれば良いと思います。
- 事務局 子育てコーナーには、料理や手芸、趣味に関する本を集めています。
- 委員 「子育てのちょっといい話」はすごくいい取り組みだと思います。それと同じように介護とか認知症の話しとかも聞けると市民に役立つのではないのでしょうか。
- 会長 ③の子どもたちの豊かな「学び」を応援し、学校、家庭、地域等と連携して子ども読書活動の推進を図りますという項目が6項目あります。図書館としては外部との連携という部分も重点的な内容となっておりますが、学校関係、家庭との連携についてご意見はありますか。
- 委員 よく小学校の夏休みの宿題で読書感想文推薦図書の本屋さんに行くと売り切れていたり、なかなか見つからないことがよくあるので、図書館で借りられると良いと思います。
- 事務局 図書館でもその年度の推薦図書を複数冊受入していますが、購入冊数には限度がありますので、コンクールに出される方はその年の推薦図書でないと駄目ですが、学校の宿題の感想文の場合は、過去の課題図書でも大丈夫な場合もありますので、過去の課題図書を集めて展示しております。
- 会長 その展示の案内は、どのように行なっているのですか。
- 事務局 ホームページや図書館ニュースで案内しています。
- 委員 子ども達の勉強ができるコーナーはありますか。
- 事務局 机と椅子があるコーナーと中央に子ども向けの百科事典を集めたコーナーがります。

- 委員 調べ案内の作成という所で子どもたちが調べたい内容を容易に取得できるように案内を作成するとあるのですが、もう一步具体的に教えてください。
- 事務局 例えば、チキンラーメンについて調べるにはどのように調べたら良いか、検索方法や、資料の調べ方、インターネット公式ページの案内など、調べ方の順番やコツなどを掲載しています。また、図書館のホームページにも掲載しています。
- 委員 子ども達は、スマートフォンとかディスプレイから情報を得ることが習慣になっていて正しい情報を取得できる力が今後必要になってきますね。
- 事務局 そうゆう子ども達が調べられる力をつけてもらえるよう、石橋プラザでは、「調べもの探偵」という、事前に調べたいテーマを決めて図書整備日に職員と一緒に検索機や本を使って調べる行事を開催しています。今後、本館でもそういった企画を考えていく必要があると思っております。
- 委員 子ども達が「調べ案内」を図書館以外で手に取ることはできますか。
- 事務局 学校図書館に置いてもらっています。
- 委員 配布時期が夏休み前だと、自由研究に役立ちますね。
- 事務局 夏休みには、夏休みの宿題に向けた展示をしていますので、展示コーナーに設置するなど、利用促進につなげたいと思います。
- 会長 次に、④図書館ボランティアとの協力を深めるとともに、市民同士の交流の機会・場を提供し、市民がわくわくしながら集い、出会う、楽しい図書館をめざします。とういことで4つの項目に別れています。これについていかがですか。
- 委員 いちばん最後の図書館協議会の充実とは、どのような取組みとして位置づけされているのでしょうか。
- 事務局 協議会での協議内容を積極的に図書館運営に反映させていきたいと考えております。
- 委員 前年度でいえば、要綱書をまとめたみたいなことになりますか。
- 事務局 今回評価に当たっていろいろご意見を沢山ちょうだいして、そこから新たな取組みを進めて、改善していくとかに活用させていきたいと考えています。
- 会長 最後の項目で⑤高齢・障がいなどの理由により図書館利用が困難な市民へのサービス拡充や情報提供の格差解消に努め、誰にでもやさしい図書館をめざしますという所で、これも4項目上げておられます。多言語サービスの充実という項目があるのですが、これは具体的にどのよ

うな内容ですか。

事務局 ひとつは、多言語によるおはなし会を、国際交流センターと連携して講師の方を派遣していただいて、おはなし会を開催しております。年2回位図書館で行なったり、国際交流センターで行なったり、先日は石橋プラザの方でも開催させていただきました。日本語を母語としない子ども達、子どもに限らず大人も全ての年代を対象におはなし会で交流を深めてもらい図書館に来るきっかけ作りを行っています。また、図書館の利用案内を英語、中国語、韓国語、ベトナム語、インドネシア語を国際交流センターで翻訳していただいて配布しています。

委員 今の件は以前進路保障協議会で行なっていたことがあるのですけれども、その時に多言語による進路説明会を毎年1回行なっていて、それは親御さんが日本語をよく分からなくてとか、子どもが進路で高校へ行きたいとかいう時にどのようなシステムに誤差を感じるとかを説明する会を11月位に行なっていたけれども、単発なのでその時来れない方もあるので、そういう資料等を連携して貰えれば手に入ると思うので、こういったところに置いて貰えるといいかなと思います。短い中でなかなか呑みこめなくて、複雑に最近なってきたから親御さんが了解するまでには時間が必要だとか、小学生段階で考えていかないとかそういったこともありますので、高校3年生になって説明されてどうしようかなといってもなかなか難しいこともありますので、連携していただいたら。

委員 多言語に関しては、ホームページをせめて英語だけでも文字が選べるように、図書館に多言語関係の案内や行政資料など、配布するコーナーを設けてもらえたら良いと思います。

事務局 洋書コーナーに設置するなど、検討していきます。

委員 宅配サービスの拡充とは。

事務局 宅配サービスは障がいをお持ちでひとりでは図書館に来館できない。また、一人住まいなどで家族にも借りに行ってもらえない方へご自宅に本を届けるシステムです。まだ利用されていない方にこのサービスを知ってもらうことが課題になっている。

委員 そうですね。宅配サービスのPRが必要ですね。

委員 デイジー図書の利用は多いですか。

事務局 利用は多いです。貸出件数は年間に875点です。

会長 次に資料2の平成31年度の重点目標について1の課題解消サービスについてはいかがですか。

委員 年間の実施キャパはありますか。

- 事務局 部屋のスペースの問題はあります。開催回数に関しましては前の五月丘と変わりませんが、入れる人数というところで前の会議室より少し狭くなります。
- 会 長 職員研修に力を入れられるとのことですが、今度は午後8時まで開館されて月に1回の閉館日で動かれるようで、そうやって来ると研修に参加しにくくならないでしょうか。
- 事務局 研修参加も含めてシフトを考慮し、多くの研修に参加してもらい、職員のスキルアップを図っていきたいと考えています。
- 会 長 ヤングアダルトサービスですが、これも新しい図書館では重要なポイントになってきますね。
- 事務局 前の五月丘でも10'sコーナーは広めに設置していましたが、今度の本館はそれ以上に広いスペースを設けて、本も沢山置く予定ですので、資料の選定が重要になると思います。
- 委 員 評価の基準として、基本は前年度の数字と比較するとのことですが、今回のように本館が1月で閉館するなど、イレギュラーな場合はどのような評価になりますか・
- 事務局 評価結果について、前年度比較での数字の差について検証を行い、取り組み結果に反映する予定です。
- 会 長 その他ございますか。なければ本日はこれにて終了いたします。